

私
た
ち
は
生
き
る



世界報道写真展

2021

世界報道写真大賞 一般ニュースの部 単写真1位

マッズ・ニッセン(デンマーク、ホリティケン/パノス・ピクチャーズ)

初めての抱擁 2020年8月5日、ブラジルのサンパウロにあるヴィヴァ・ベム介護施設で、新型コロナウイルス感染防止の「ハグカーテン」越しに看護師のアドリアナ・シルヴァ・ダ・コスタ・ソウザに抱きしめられるローザ・ルジア・ルナルディ(85)。

滋
賀

9.20月・祝 — 10.15金

開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで) 会期中無休

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

エポック立命21 エポックホール

京
都

10.18月 — 10.31日

開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで) 会期中無休

立命館大学 衣笠キャンパス

西園寺記念館 1階カンファレンスルーム

参観料：大人500円、中・高生300円、小学生200円 主催：立命館大学国際平和ミュージアム、世界報道写真財団、朝日新聞社 後援：オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、NHK京都放送局(衣笠キャンパス開催分)、KBS京都、滋賀県、大津市、草津市、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、草津市教育委員会、NHK大津放送局(びわこ・くさつキャンパス開催分)、びわ湖放送株式会社 協力：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本(東京)

お問い合わせ：立命館大学国際平和ミュージアム 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899

<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/> 公式Twitter 立命館大学国際平和ミュージアム(@krmwp_PR)

[公式HP] <https://www.asahi.com/event/wpph/>

[公式Twitter] 世界報道写真展 (@wppjapan)

世界報道写真展 2021

世界報道写真展 2021

世界報道写真コンテストの受賞作を紹介する「世界報道写真展2021」は、世界中の50カ国、約120会場で開催される世界最大級の報道写真展です。64回目を迎える今回のコンテストには、130の国と地域から4,315人のフォトグラファーが参加し、74,470点の応募がありました。

今年は「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「環境」、「自然」、「長期取材」、「スポーツ」、「スポットニュース」、そして「ポートレート」の全8部門で、28カ国45人の受賞が決まりました。各部門はそれぞれ「単写真(写真1枚)」と「組写真(複数の写真で構成)」に分かれています(長期取材の部を除く)。受賞者の中から、その年の最も優れた作品に対して「世界報道写真大賞」と「世界報道写真ストーリー大賞」が贈られます。今年はマッツ・ニッセン氏(デンマーク、ポリティケン/パノス・ピクチャーズ)の作品「初めての抱擁」が大賞を受賞しました。コロナウイルスと闘う人間の絆と温もりを写し出した、勇気を与える1枚です。



スポーツの部 単写真3位
トマシュ・マルコフスキー (ポーランド)

自転車ロードレース「ツール・ド・ポーローニュ」でのクラッシュ
2020年8月5日、ポーランドのカトウィツェで行われたツール・ド・ポーローニュ(ツアー・オブ・ポーランド)の第1ステージにおいて、フィニッシュライン数メートル手前で同じオランダの選手ファビオ・ヤコブセンと衝突しクラッシュするディラン・フルーネウェーヘン選手(左)。



環境の部 組写真2位
シリル・ジャズベック (スロベニア、ナショナルジオグラフィックに提供)
気候変動と闘う策:自分の氷河を造る
ラダックの旧王都レー近郊のガンダレスにある高さ24メートルの氷の仏塔。配水管から噴き出した水で形成される。



ポートレートの部 単写真1位
世界報道写真大賞ノミネート作品

オレグ・ポノマレフ (ロシア)
ジェンダー移行:イグナツ
2020年4月23日、ロシアのサンクトペテルブルクにてガールフレンドのマリアと座るトランスジェンダー男性イグナツ。



自然の部 単写真1位
アミ・ヴィターレ (アメリカ、CNNに提供)

浸水した島からキリンを救出
2020年12月3日、ケニア西部バリンゴ湖で、洪水に見舞われたロンギチャロ島から特製のはしけで安全な場所に輸送されるロスチャイルドキリン(シラファ・カメロバレダリス・ロスチルディ)。



世界報道写真ストーリー大賞
長期取材の部 組写真1位
アントニオ・ファシロンゴ (イタリア、ゲッティルポタージュ)
ハビビ
2015年5月、ナエル・アル・バルグーティのスーツは、パレスチナの都市ラマラ近郊のコパールにある彼の自宅寝室にかかったまま。アル・バルグーティの妻イマン・ナフィは、夫の服や持ち物をそのままにしている。アル・バルグーティは、対イスラエル奇襲攻撃後の1978年に逮捕された。2011年にいったん釈放されて、イマン・ナフィと結婚したが、2014年に再逮捕され終身刑を宣告された。彼の収監期間は40年を超え、イスラエルの刑務所のパレスチナ受刑者の中で最も長く服役している。



スポットニュースの部 単写真1位
世界報道写真大賞ノミネート作品
イヴリン・ホックシュタイン (アメリカ)
奴隷解放記念碑論争
2020年6月25日、アメリカ・ワシントンDCのリンカーン公園で奴隷解放記念碑の撤去をめぐる意見を異にする男性と女性。

A C C E S S



滋賀
JR「南草津駅」より近江鉄道バス「立命館大学行き」または「立命館大学經由飛鳥(とびしま)グリーンヒル行き」にて「立命館大学」下車。

京都

JR・近鉄「京都駅」よりJRバス、市バス50にて「立命館大学前」下車、徒歩10分。阪急電車「西院駅」より市バス205にて「わら天神前」下車、徒歩12分。
※お車でのご来館はご遠慮ください。



※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本展を中止・変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページやTwitterにてお知らせいたします。



PARTNERS

